



## 令和4年度第1回湘南西部地区保健医療福祉推進会議 資料2-1

# 湘南西部地域における病床の取扱い

令和4年9月5日  
神奈川県健康医療局保健医療部医療課作成

本資料では、東海大学大磯病院の開設者からの事業終了の申出を受け、本県の病床の取扱いに係る対応について説明させていただきます。

## 〔目次〕

- 1 本事案のこれまでの経緯
- 2 県要綱における病床の取扱い
- 3 今後のスケジュール
- 4 意見を伺いたい事項

# 1 本事案のこれまでの経緯

日時	経緯
令和4年1月31日	学校法人東海大学が「医学部附属大磯病院（許可病床数：312床）の事業終了及び事業継承について」公表 …（別紙1）
同年2月25日	学校法人東海大学から神奈川県知事宛て、医療法人徳洲会への事業継承について申出 …（別紙2）
同年3月2日	大磯・二宮町長から神奈川県知事宛て、病院継続についての要望 …（別紙3）
同年3月9日	令和3年度第3回保健医療計画推進会議にて、東海大学大磯病院の病床の取扱いに関し、今後の調整の進め方について承認を得た

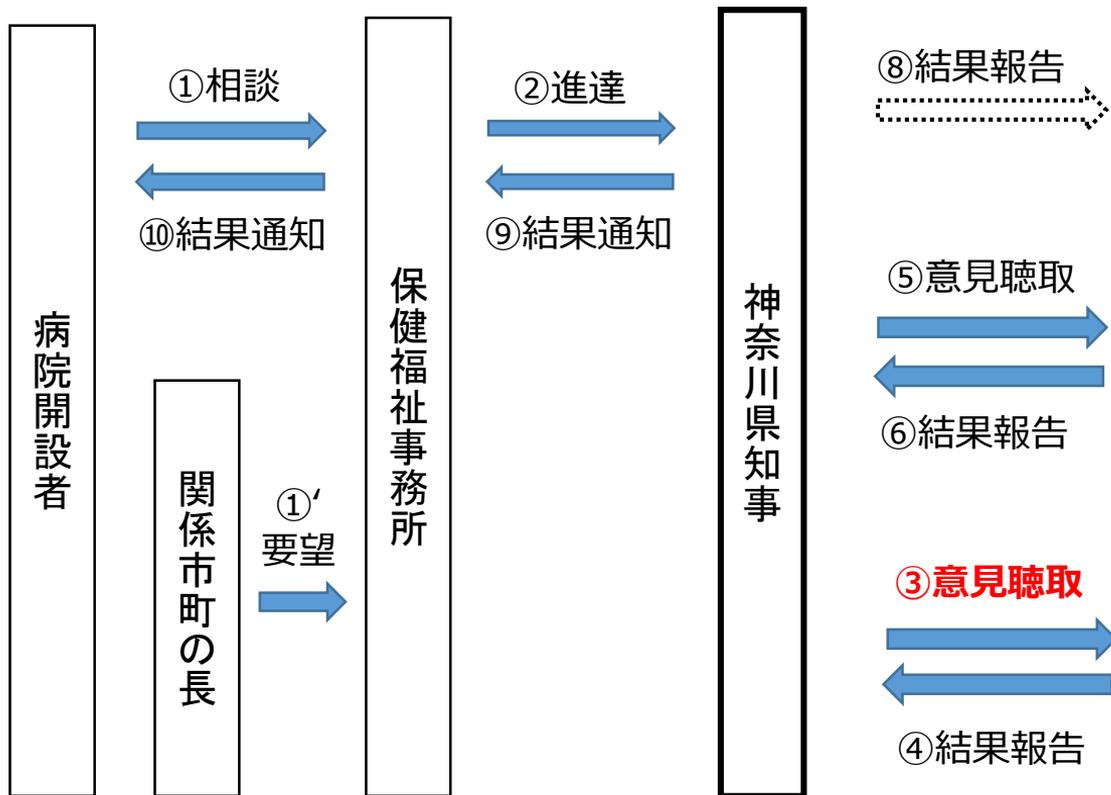
## 2 県要綱における病床の取扱い

- 本県では、「病院等の開設等に関する指導要綱」において、病床の取扱いについて次のとおり整理している。

病院等の開設等に関する指導要綱上の整理	
原則	<ul style="list-style-type: none"><li>・病院が廃止された場合、病床は返上</li><li>・当該地域の既存病床数が基準病床数を上回る病床整備は不可</li></ul>
適用除外	<ul style="list-style-type: none"><li>・「病院等の開設者の倒産、死亡、医療法人化、親族への継承等により当該病院等の開設者が変更される場合であって、病院等の運営が継続しており、かつ当該病院等の開設場所の変更、病床数の増加が伴わないとき」には、事前協議を要しない。 (＝適用除外)</li><li>・ただし、医療機関としての役割や機能を大きく変更する場合は、地域医療構想調整会議へ事前に説明し、意見を聴く。</li></ul>

- なお、**適用除外の要否は、病院が廃止になった場合の地域医療への影響等について地域医療構想調整会議及び保健医療計画推進会議に意見を聴いた上で、知事が決定している。**

# 【参考】適用除外の要否に係る協議の流れ（県所管域）



⑦適用除外の  
要否を決定

## 県医療審議会

（会長：県医師会長、招集者（会長不在時）：県知事）

＜報告内容＞

- ・適用除外の要否について、各会議への意見聴取結果を踏まえた知事の決定を報告

## 県保健医療計画推進会議

（会長：県医師会副会長、招集者（会長不在時）：保健医療部長）

＜意見聴取内容＞

- ・適用除外の要否について、地域医療構想調整会議の意見聴取結果を踏まえ、意見を確認

## 地域医療構想調整会議 （地区保健医療福祉推進会議）

（会長：各都市医師会長等、招集者（会長不在時）：保健医療部長又は保健福祉事務所長）

＜意見聴取内容＞

- ・適用除外の要否について

本日の検討段階

### 3 今後の協議スケジュール（予定）

時期	内容
令和4年9月5日 （本日）	令和4年度第1回湘南西部地区保健医療福祉推進会議において意見聴取〔協議の流れ:③〕
同年9月下旬	上記意見聴取の結果を取りまとめの上、令和4年度第2回県保健医療計画推進会議において意見聴取〔協議の流れ:⑤〕
同年10月	令和4年度第2回県保健医療計画推進会議の結果を踏まえて、適用除外の要否について知事が決定〔協議の流れ:⑦〕
同年10月	令和4年度第1回県医療審議会へ結果を報告〔協議の流れ:⑧〕
同年11月上旬	結果について、病院開設者へ通知〔協議の流れ:⑨⑩〕

## 4 意見を伺いたい事項

- 適用除外の要否は、病院が廃止になった場合の地域医療への影響等について地域医療構想調整会議及び保健医療計画推進会議に意見を聴いた上で、知事が決定している。
- そこで、本事案について、適用除外とすることの要否を知事が決定するに当たり、当該病院が廃止になった場合の地域医療への影響について、委員の意見を伺いたい。

# 【参考】過去の事案における意見聴取結果

年月	医療機関名	主な意見(医療機関が廃止になった場合の影響について)
平成27年10月	浦賀病院	<ol style="list-style-type: none"><li>1. <u>在宅療養連携体制の中心的な役割、横須賀市を含む広域救急医療体制の一翼を担う。</u></li><li>2. 長きにわたり当該地域で医療提供 → 廃止された場合は、周辺住民に遠方への通院を強いることになるほか、<u>一部市域に病院の空白地域が生じる</u>こととなる。</li></ol>
平成28年10月	横浜逋信病院	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 廃院→病床の再配分の場合 <u>全く別の地域に開設する病院への配分となる可能性があり</u>、横浜逋信病院が神奈川区の一般病床の約15%を占めていることを考えると、廃院は地域住民へ大きな影響がある。</li></ol>
平成28年12月	川崎田園都市病院	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 閉院となった場合 精神病床111床は再配分がなされず、療養病床194床 → 病床の再配分 → <u>別の場所や機能の病床となる可能性があり、地域住民へ大きな影響がある。</u></li><li>2. 市内の療養病床の利用率が90%を超えている → <u>現在入院中の患者を地域医療機関で受け入れることは困難</u> → <u>患者やその家族が多大な不利益が想定</u></li></ol>
同上	横浜田園都市病院	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 閉院となった場合 → 周辺の療養病床の病床稼働率が90%を超えるような状況 → <u>横浜田園都市病院の患者を地域医療機関で受け入れることは困難</u> → 患者が転院できず、患者やその家族が多大な不利益を被ることが想定される。</li><li>2. 長期療養が必要な患者の受け入れができなくなり、急性期病院からの転院が難しくなる → <u>急性期病院内に急性期での対応が不要な患者が増加</u> → 本来急性期病院が担うべき救急入院への対応が難しくなる</li></ol>

# 【参考】過去の事案における当時の病床状況

## 過去の事案

時期	医療機関名	二次医療圏	病床数	基準病床数 (H25：第6次計画時)	既存病床数 (協議時点)	過不足 病床数
平成27年10月	浦賀病院	横須賀・三浦	合計 99床 ・一般 60床 ・療養 39床	5,334	5,311	△23
平成28年10月	横浜逓信病院	横浜北部	一般 93床	8,726	8,234	△492
平成28年12月	川崎田園 都市病院	川崎北部	合計 305床 ・療養 194床 ・精神 111床	4,353	4,170	△183
同上	横浜田園 都市病院	横浜北部	療養 375床	8,726	8,234	△492

## 今回の事案（湘南西部地域：令和4年4月1日時点）

時期	医療機関名	二次医療圏	病床数	基準病床数 (H30：第7次計画時)	既存病床数 (R4.4月)	過不足 病床数
令和4年	東海大学 大磯病院	湘南西部	一般 312床	4,635	4,628	△7

# 【参考】湘南西部地区における病床の状況

湘南西部は、高度急性期が過剰であり、急性期・慢性期が不足している。

## 湘南西部地区全体

	病床機能報告 (R3. 7. 1)	2025年の 必要病床数	差
高度急性期	1, 160 (25%)	752 (14%)	408
急性期	1, 591 (34%)	2, 140 (39%)	△549
回復期	551 (12%)	1, 404 (26%)	△853
慢性期	1, 220 (26%)	1, 205 (22%)	15
休棟中等	129 (3%)	— (—%)	129
合計	4, 651 (100%)	5, 501 (100%)	△850

## 東海大学大磯病院

	病床機能報告 (R3. 7. 1)
高度急性期	8 (25%)
急性期	279 (34%)
回復期	— (12%)
慢性期	— (26%)
休棟中等	25 (3%)
合計	312 (100%)